



中高大連携のもと
恵まれた環境を生かし
勉強、部活に全力投球

1 913(大正2)年に関西大学の併設校として設立され、今年100周年を迎えた同校。正義を重んじ誠実を貫く教育を教育方針に、知育・徳育・体育の調和の取れた人物の育成を目指しています。

関西大学千里山キャンパスに隣接し、朝の登校時に大学生と同じ電車を通う生徒たちは、皆どこか誇らしげ。大学の施設を利用することもあるので、アカデミックな雰囲気や、日々肌で感じ取っているようです。

一貫校ならではの時間的なゆとりを生かし、受験勉強にとられない落ち着いた環境の中、中学では先取り学習はなく3年間です。

かりと基礎学力を定着させています。また、総合的な学習の時間には、教科の枠を超えて考える力や自ら調べて行動する「探究」という独自の授業にも取り組んでいます。中1の「探究入門」では、中学生として身につけておきたい知識や技能を修得。中2の「基礎探求」では、先生方から提案された講座を選択して研究し、まとめていきます。その集大成となる中3の「卒業探究」は、自ら興味のあるテーマについて調べ論文を書き、発表します。こうして3年間で身につけたスキルは高校や大学の学習、研究で発揮されるのです。

さらに、部活動もさかんで「勉強には手を抜かず、好きなことにも打ち込みたい」と、100%に近い入部率を誇ります。高校生と一緒に練習したり、ときには全国レベルで活躍する大学生がコーチとして参加することもあり、互いに競り合い、刺激し合って充実した学校生活を送っています。



常に感謝の気持ちを忘れず、他人に対して思いやりの気持ちを持ち、人として正しい礼儀と態度を身につけられるよう、きめ細かく指導している。

友達、先輩、先生との
コミュニケーションで人間関係を学ぶ

▶大学までの一貫教育を基軸にすえ、大学と連携協力し、生徒一人ひとりを大切に育む同校。休み時間の職員室へ、続々と生徒たちが質問にやってくる。



▲昼休みや放課後の生徒食堂は、生徒たちの憩いのスペースとなっています。テラス感覚の明るい雰囲気の中、楽しく食事をする生徒たち。

▶中高合同の吹奏楽部は、ほとんどが初心者。運動部の応援演奏のために甲子園球場や関東方面に遠征することも。「パートごとに高校生の先輩と練習しています。クラブ以外でも仲良くしていただいています」(中3生)



▶「楽しく笑顔で元気にプレー」を合言葉に活動する、女子バレーボール部。高校生に教えてもらった練習試合をしたりしながらレベルアップを目指す。



▼中学の卓球部では、男子生徒は女子生徒のレシーブやスマッシュなどの練習のサポートもしている。「技術だけではなく、礼儀も学びます。男子は地区優勝、女子は大阪でベスト4が目標」(中2生)



関西大学の
千里山キャンパスに隣接

▼中高合わせて生徒数は約2000人。人工芝が敷き詰められた中学専用グラウンドは、豊かな木々の緑に囲まれ、四季を肌で感じることができます。「バレーボールをしたり、サッカーをしたり。とにかく朝から芝生の上を走り回っています」と生徒たち。



▲生徒会による朝のあいさつ当番に迎えられ、元気に登校する生徒たち。大学の併設校としての利点を生かし、受験勉強に悩むことなく、部活や趣味にも精いっぱい打ち込める。毎朝、授業が始まるまでの5分間は、読書タイムや週2回の小テストにあてられています。

▶反復学習や読み・書き・考えることに重点をおいた学習を展開。授業では教科書を進めながらも、その都度必要な箇所の復習をくり返し、しっかりと内容を定着させていく。



▼美術室では中1が絵画の鑑賞方法を学んでおり、印象派の絵画集を見て、何を感じとれるのかを考えていた。情操教育の一環として、美術を気軽に楽しむ姿勢を身につけるため、美術鑑賞会も実施されている。



▼中学では週6日(平日6時間、土曜4時間)の授業でバランスのとれた教育を実践。英検・漢検・数検の三大検定を目指すことで、基礎学力の定着を図る。英語ではネイティブの発音を身に付けるため、歌や映画を題材にした授業も行われている。



中学生の一日の学校生活を追ってみました

CLOSE UP 創立100周年の軌跡を“探究”
学校の歴史を知り、未来をつくる

今年創立100周年を迎える同校。関西大学の応援歌にある「カイザー(皇帝)関大」から、イメージした皇帝ペンギンのマスコットキャラクターや、生徒から募集した100周年の“100”と∞(無限)を組み合わせたシンボルマークを制作。また、中2は「基礎探求」の“関大一中を研究する～創立100周年に参加しよう”で、記

念誌の編集に参加しており、OBの先生方にインタビューしたり、大学の図書室で古いアルバムや資料を見たりしながら、学校の歴史を調べています。来年度より夏服のデザインがマイナーチェンジ。女子のブラウスは生徒の投票で決定されるそう。新たな歴史を育んでゆく生徒たちは、次の100周年へと歩み始めています。



学校の歴史を調査する生徒たち。